

「新しい生活様式」実現こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2021
3班 DX社会実装分野

そうだ デジタル、しよう

～今だからこそできる革新～

【郡山市】	渡辺 皓亮
【須賀川市】	大和田 里歩
【田村市】	武者 明日香
【鏡石町】	川田 寛貴
【郡山国道事務所】	南雲 佳純

昨今の高齢者とデジタルの問題

ワクチンの予約ができない…

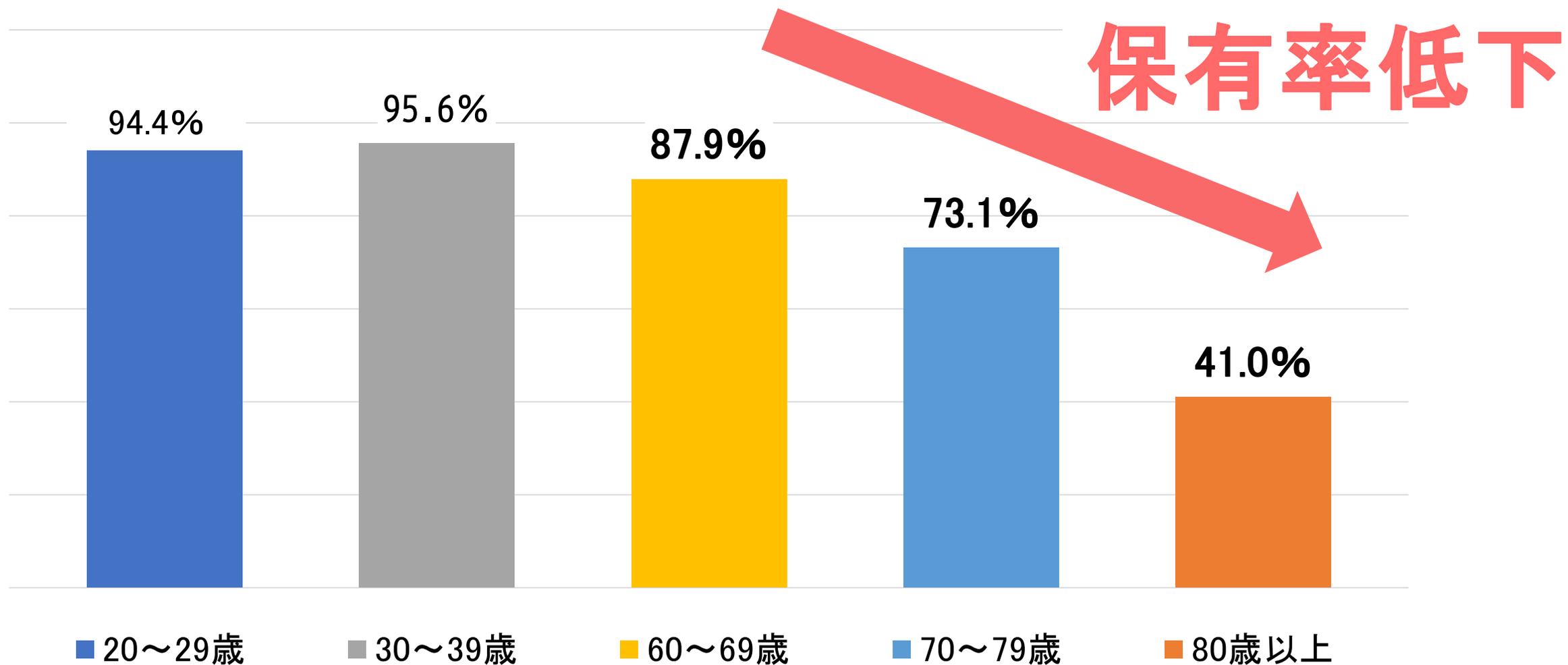


- ・スマホは持っているけど、予約に必要な操作がわからない
- ・スマホもパソコンもなく電話予約なかなか繋がらなくて困る

高齢者のデジタルデバインド(情報格差)

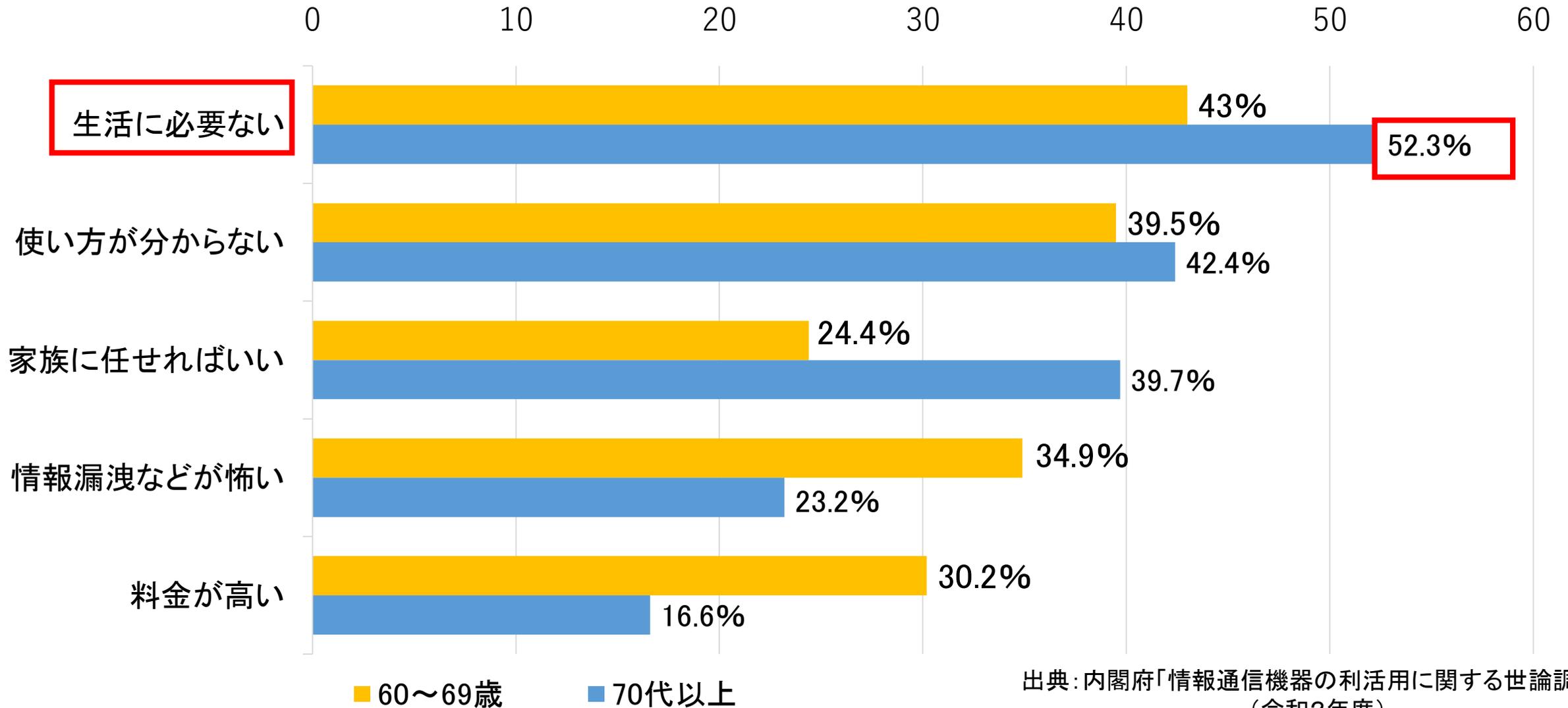
現状1

年代別モバイル端末の保有状況



現状2

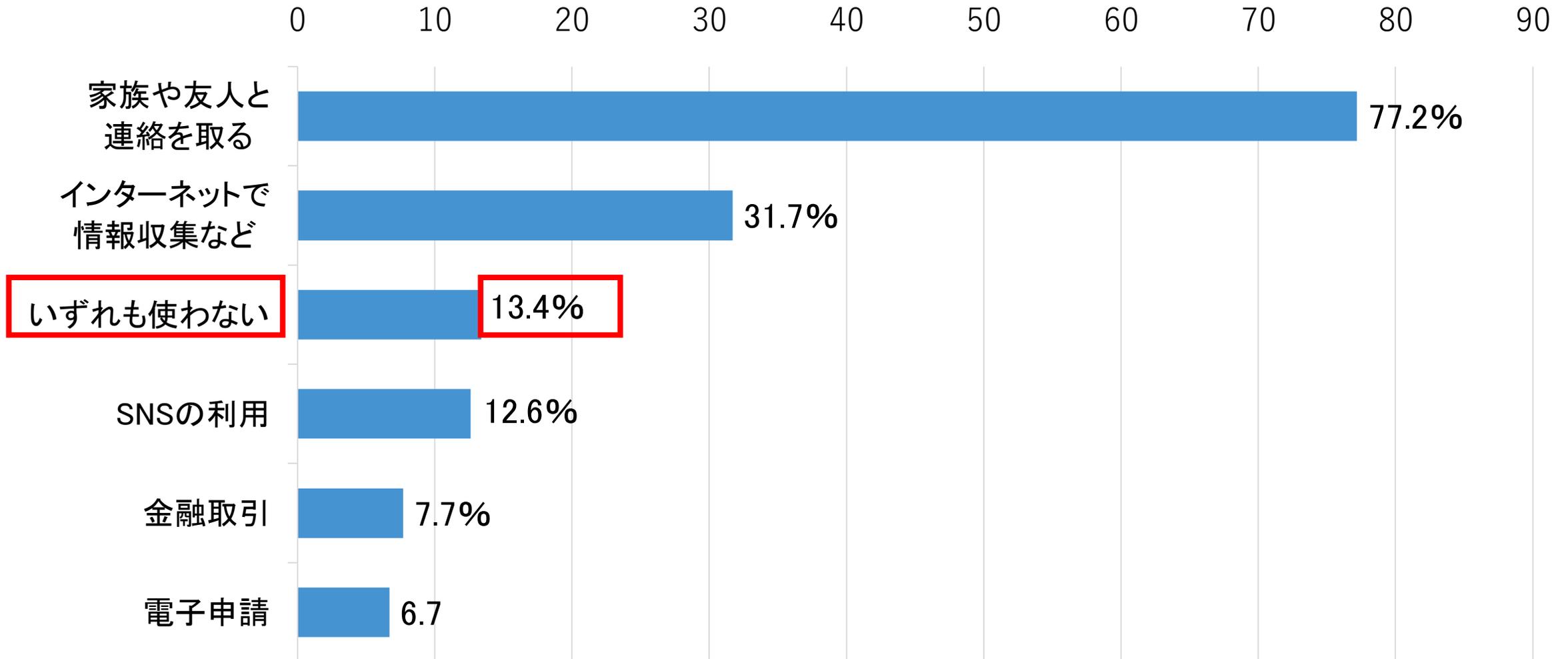
スマホを利用していない理由



出典：内閣府「情報通信機器の利活用に関する世論調査」
(令和2年度)

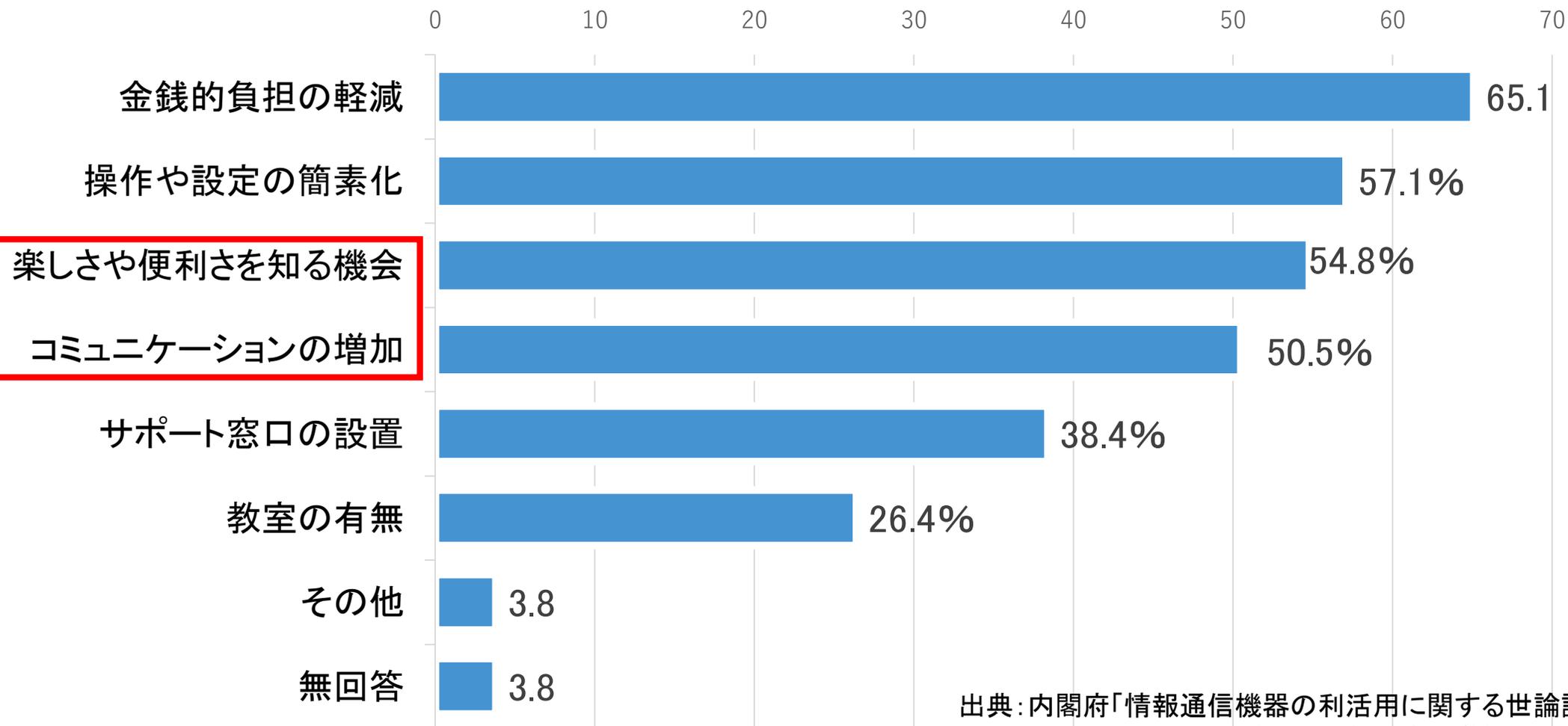
現状3

スマホをどんなことに使用しているか



出典：内閣府「令和3年度版高齢者社会白書」
(60歳以上対象)

課題 どんなことがあれば利用につながるのか



出典：内閣府「情報通信機器の利活用に関する世論調査」(令和2年度)
(18～70歳以上対象)

課題 どんなことがあれば利用につながるのか

デジタルは生活に必要ない



楽しさや便利さを知る機会の提供
コミュニケーションのきっかけ作り

1

料理教室を WEBで開催

高齢者が先生となって、
自分の趣味を伝える

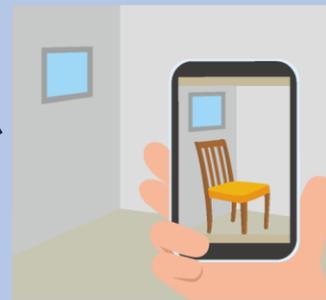


2

AR・VRで 思い出の共有

AR+アルバム

スマホをかざすと
写真が動き出す



VR+運動

景色を写しながら
健康管理



3

防災+運動+アプリ

マップアプリで
運動記録を管理
災害時、避難ルートを表示



1

料理教室を WEBで開催

高齢者が先生となって、
自分の趣味を伝える



2

AR・VRで 思い出の共有

AR+アルバム

スマホをかざすと
写真が動き出す



VR+運動

景色を写しながら
健康管理



3

防災+運動+アプリ

マップアプリで
運動記録を管理
災害時、避難ルートを表示



トライアル編では…

防災＋運動＋アプリ

- マップアプリで運動記録を管理
- 家族友人で運動実績を共有
- 災害時、避難ルートを表示



トライアル編の試行内容

高齢者に向けた日常的に使えるアプリの作成

散歩や運動の際スマホを持ち歩くだけで
有益な情報が得られる



アプリの体験

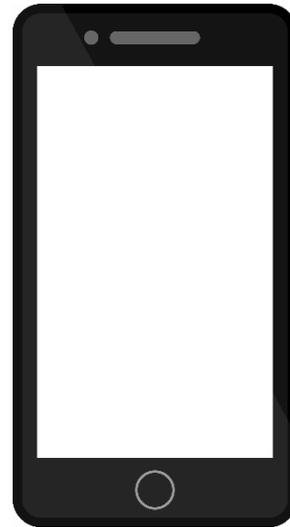


アプリでできること

日常的に使える
地図アプリ

避難所や災害マップを
地図上に表示

GPSにより避難状況が
自動で表示



災害・事故情報を
タイムラインに投稿
地図に表示

友人・家族と運動状況の
共有

運動距離や歩数に応じて
特典付与

アプリの操作



トライアル編体験会の反応

日時：令和4年3月23日（水）

場所：郡山市総合福祉センター

体験者：社会福祉協議会職員

ボランティアアドバイザー（60～80代） 12名

【主な意見】

元々スマホを持っている人であれば、DXの取り掛かりとしては有効なものだが、もう少し簡素化は必要。

これをきっかけにスマホを持とうとは思えない。



体験会でいただいた主な意見

- まずアプリのダウンロードの方法が分からない
- 求めている画面まで3行程以内くらいにしてほしい
- 白背景に黒字は見えるが、色背景に色文字は見づらい
- カタカナのワードは意味が分からないものが多いので、ひらがなの言葉にして欲しい
- 位置情報の共有は個人のプライバシーでもあるので共有するかどうかを選択できるようにしたら良いと思う

体験者の反応に対する改善

1 文字を大きくし、文字の背景は白

2 ホーム画面、機能はシンプルに

3 カタカナの用語をなじみのある言葉に

4 目的の画面までのボタンを少なくし
ボタンは分かりやすく

アプリの事業化に向けて

今回の制作内容

スマホ実装を目標とした
アプリをタブレットで試作



今後の展望

スマホ実装に向け改良
AR・VRによるマップ導入

期待される効果

効果1

スマホの積極的な活用



効果2

健康の増進 防災意識の向上



スマホ利用で生活が豊かに！

まとめ

高齢者のデジタルデバイド

「防災さんぽアプリ」の利用

NEW

高齢者も積極的にデジタル活用

**誰一人取り残さない
DX広域圏の実現**